

ワークショップ（対話）の心得

[対話の心得]

- ～全員が気持ちよく話せるように～
- *人の話に耳を傾けることが大切です
- *自分ばかり話しません
- *頭から否定しません
- *楽しい雰囲気大切にします

[対話に参加する全員の心得]

- *最初の対話は、あらかじめ割り振られたA～Dの班に着席します。
- *2回目、3回目の対話では席を必ず移動して、着席してから対話を始めます。
- *4回目の対話では、最初の班に戻ります。
- *氏名の記載された名札とペンを持って移動します。
- *他者を否定する、他者を批判する、他に責任を求めることはやめましょう。
- *話を途中で遮られないために、簡潔な話に努めましょう。
- *気付いたことは、テーブルクロスに書きましょう。
(単語、文章、イラスト等なんでも書けます)

[テーブルオーナー（進行役）の心得]

- *参加者の移動後、進行役は、対話の概要を紹介します。
- *対話の概要の紹介は、テーブルクロスのコメント等を使い手短に行います。
- *テーブルオーナーは、テーブルクロスに書き込みするウェイター（書記）を指名します。
- *テーブルオーナーは、ウェイターと一緒に皆さんが対話で話したキーワードを、テーブルクロスに書き込みます。